

2 ヒアリング調査

(1) 調査目的

実際に景観づくりに関わっている方々に、景観に対してどのような印象を持っているのか、取り組みの中でどのような課題を抱えているのか等、ヒアリングまたはアンケートで調査した。

(2) 調査設計

ア 調査手法

ヒアリング調査(一部アンケート調査)

イ 調査対象

・市民活動団体、事業者団体、中心市街地関係団体、行政内景観関連部署

ウ 主な調査内容

(市民活動団体：町田市景観づくり市民サポーター)

- ・市民活動に参加したきっかけ
- ・活動の課題等について など

(事業者団体：公益社団法人 全日本不動産協会東京都本部町田支部
一般社団法人 東京都建築士事務所協会町田支部)

- ・町田市全域の景観に対する印象
- ・景観に関する取り組みの周知状況について
- ・景観に関する制度の課題等について など

(中心市街地関係団体：町田市中心市街地活性化協議会)

※アンケート形式で実施(団体所属者29名を対象にアンケートを実施した。)

- ・景観に関する取り組みの周知状況について
- ・中心市街地の景観に対する印象
- ・今後取り組みたい活動 など

(町田市公共事業担当部署)

- ・公共事業による景観づくりに対する印象
- ・公共事業による景観づくりに関する制度の課題等について など

(3) 調査結果

市民活動団体へのヒアリング調査

	回答
問1 あなたはこれまでに、景観に関する取り組み・活動に参加されたことがありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・里山など自然環境の保全活動 ・地域のまちづくり、景観づくり活動 ・市が行った都市計画マスタープラン、景観計画等の市民調査会
問2 あなたが活動に参加されたきっかけをお教え下さい。	<p>【景観づくり市民サポーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画的・まちづくりの一環として景観に興味があった。 ・市民活動の繋がりで知り、参加した。 ・過去に参加した活動でサポーター制度の立ち上げに関わったため。
問3 あなたが取り組まれている、または過去に取り組んだ活動は、地域の景観づくりやまちづくりに影響を与えましたか？	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全活動が評価された。 ・成果物をもとにまちを探索する人が増えた。 ・地域のデザインガイドなどを作成し、地域の景観づくりにつとめている。 ・景観イベントなどを通じて景観に対する共通認識が持てたと感じている。
質問事項 問4 あなたが取り組まれている、または、過去に取り組んだ活動について、より良い景観づくりのために課題や、改善点はありますか？	<p>【活動全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人を取り入れる必要がある。関わりがなく、活動の世代交代が上手くいかない。 ・市民活動は最終的には、自立して活動していくことが大切である。そのための仕組みが必要。 ・情報の共有化が、もっと手軽にできると良い。 ・民間で行われている補助制度などのインフォメーションが欲しい。 <p>【景観づくり市民サポーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター同士が、もっと交流できる機会があるとよいと感じる。 ・制度に手探り感を感じる。参加者に求めていることが伝わらない。
問5 町田市の景観が更に良くなるためには、どのような取り組みが活発になると良いと思われますか？	<p>【活動全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で小中学生との交流はあるが、大学生との連携があまりないので積極的にできればと思う。 ・活動している団体として、景観は「見てもらいたい、そこに行ってもらいたい」が大切なので、良い景観+a の要素で訪れてもらいたい場所になることが大切だと思う。 <p>【景観づくり市民サポーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価検証を足がかりに、若い人が活動に参加できると良い。 ・フォーラムやセミナーをきっかけに、サポーター活動に参加した人もいるので、この取り組みは今後も必要に感じる。これまでは市民向けだったが、事業者向けに行うなども良いのではないかと。
問6 あなたはこれから、どのような景観に関する取り組みであれば参加したいとお考えになりますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・他の自治体で活動している市民団体との交流や情報交換がしたい。 ・取り組みがあるのであれば、今後も積極的に参加していきたい。 ・実践的な景観づくりへの参加を試みたい。

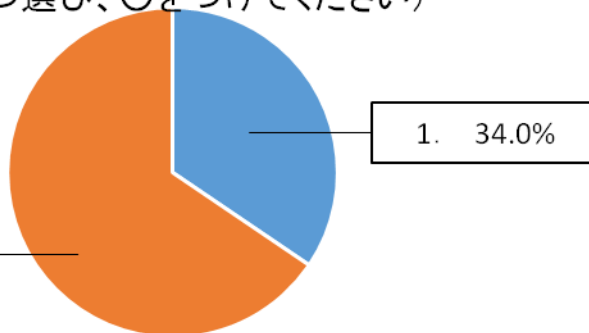
事業者団体へのヒアリング調査

		回答
質問事項	問1 あなたは現在の町田市全域の景観について、どのような印象をお持ちですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・市の景観に関する規制に対して特別な厳しさは感じない。 ・景観をはじめ、まちの構成に統一性をあまり感じられない。
	問2 町田市景観計画、町田市景観づくりガイドライン、町田市色彩ガイドラインの存在を知っていますか？また、活用したことがありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画、届出制度共に十分に浸透していないと感じる。 ・知っているが、町田市が市内の景観に対してどのような考え方を持っているのかが伝わらない。
	問3 事業者として、市内の良好な景観形成のために新たなガイドラインや制度が必要だと思いますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が市内の景観の将来像を具体的に示す必要があるのではと思う。
	問4 町田市の景観法に基づく届出制度をご存知ですか？また、町田市の届出制度は他区市と比べ、良好な景観形成のために十分な機能を果たしていると感じますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体と比べて、町田市は、特別に文化財などの景観資源が多いわけではないが、なくても景観に対して、もっと意識を持つことが大切なのではと思う。
	問5 景観法に基づく届出について、申請側として改善すべき点はあると感じますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・周知不足の解消が必要である。 ・景観賞など、他の景観づくりの取り組みと一緒に事業者へPRしてもよいのではないか。
	問6 町田らしい景観を守り、育てていくためには事業者として何ができると考えますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・市の考えを理解しながら互いに意識を高めていくことができるのではないかと思う。

中心市街地関係団体へのアンケート調査

団体所属者 29 名を対象にアンケートを実施した。

問1 市内や中心市街地の景観づくりに関する方針を
定めた計画や解説書があることをご存知ですか？
(どちらか1つ選び、○をつけてください)



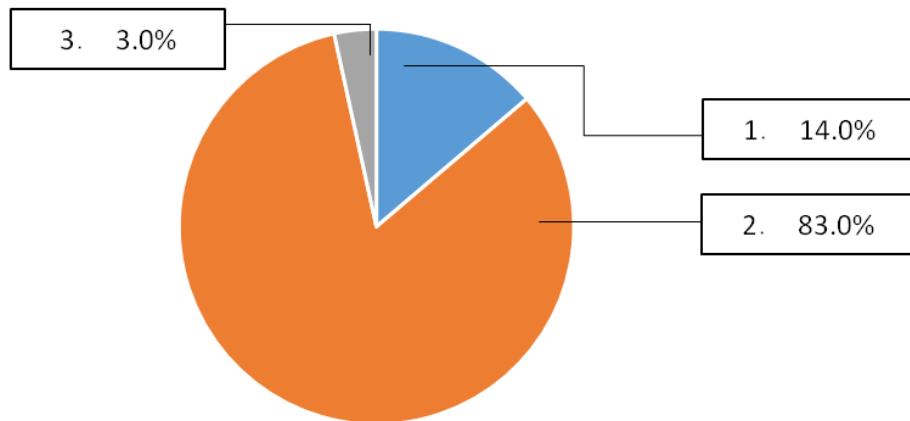
選択肢	回答数	割合
1. 知っている	10	34%
2. 知らない	19	66%

(n=29)

問1 自由記入欄の主な意見

- ・周知が足りないなので、更に周知した方が良い。
- ・内容をあまり知らない。
- ・機能しているように感じない。
- ・市民や事業者のほとんどは知らないと思う。

問2 あなたは中心市街地の景観について、どのような印象をお持ちですか？(どちらか1つに○をつけください)

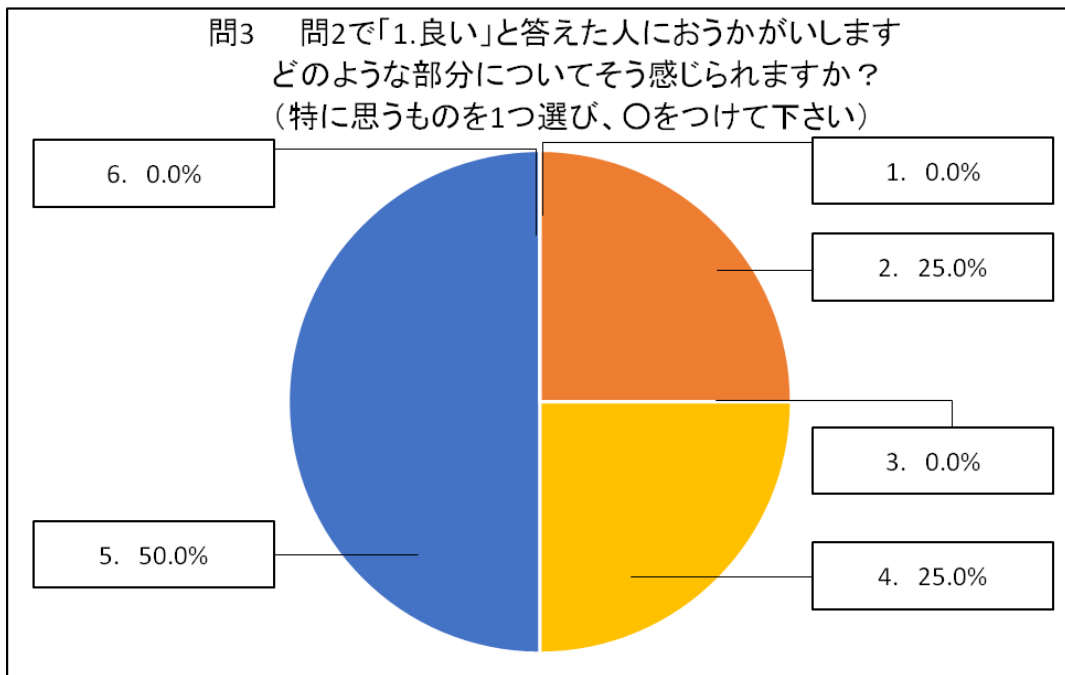


選択肢	回答数	割合
1. 良い	4	14%
2. 悪い	24	83%
3. 無記入	1	3%

(n=29)

問2 自由記入欄の主な意見

- ・アジアらしいぐちゃぐちゃ感がある。
- ・ヨーロッパのような街になったら良いと思う。
- ・どちらとも言えない。

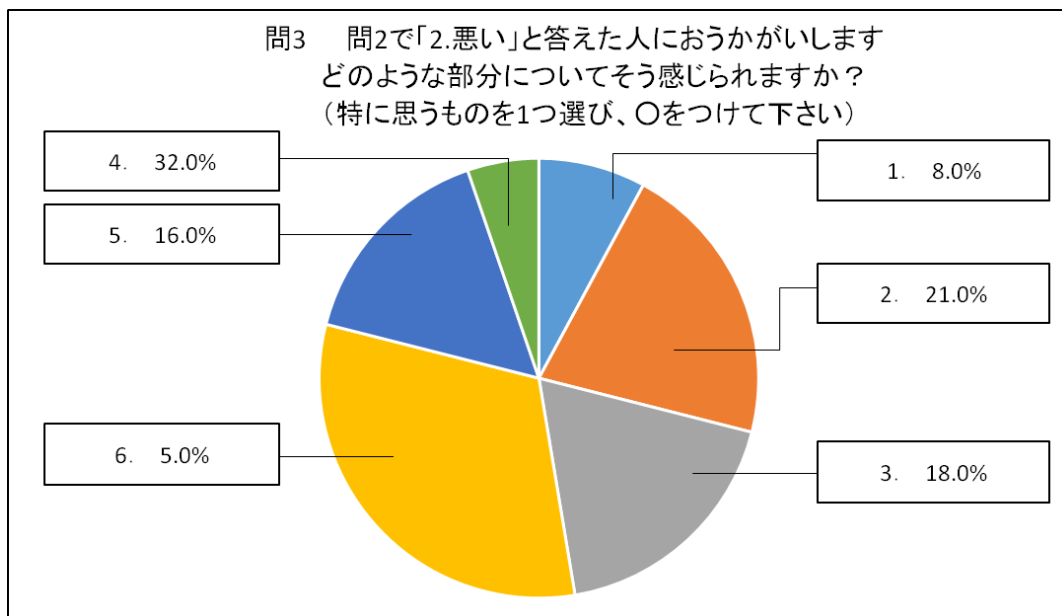


選択肢	回答数	割合
1. 商店や商業施設などの建物	0	0%
2. 街路樹などの緑	1	25%
3. 広場などの空間	0	0%
4. 看板、サイン	1	25%
5. まちにいる人々の様子	2	50%
6. その他	0	0%

(n=29)

問3 自由記入欄の主な意見

- ・ぼっぼ町田前。
- ・選択肢1,4~6は良いと感じるが、2,3はあまり良くないと感じる。
- ・選択肢4の歩道へのサイン等の越境状況については、場所によっては駄目だと感じる。

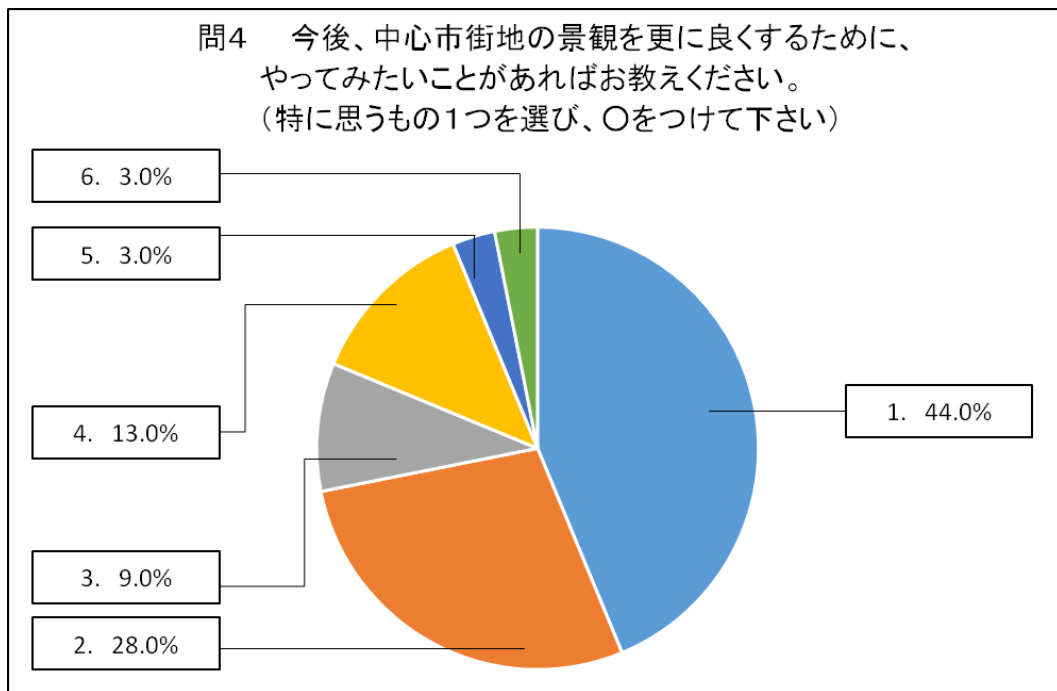


選択肢	回答数	割合
1. 商店や商業施設などの建物	3	8%
2. 街路樹などの緑	8	21%
3. 広場などの空間	7	18%
4. 看板、サイン	12	32%
5. まちにいる人々の様子	6	16%
6. その他	2	5%

(n=29 (累計38))

問3 自由記入欄の主な意見

- ・良い面…にぎわい、雑多性、カジュアル感
- ・悪い面…ゆとり空間が少ない、統一性が欠けている、色彩がバラバラ、宣伝看板等のルール不足
- ・選択肢1,3,4,5 雑多、不揃い、不統一さを感じる。
- ・選択肢2 むやみに剪定、伐採され、樹木を大切にしている意識が不足している。
- ・駅の近くは統一感がなく、汚いと思う。
- ・中心部に統一感のある店づくりの通りが生まれることを望む。
- ・サインの大きさについてルールがなさすぎると感じる。
- ・看板、サイン規制はもう少し厳しくしても良いと思う。
- ・出来るだけ小規模なものにし、色、形、規則を決めて統一して欲しい。
- ・交通関係の看板も茶色等にして欲しい。
- ・メイン通りだけでも電柱なしにして欲しい。ストリートや番地がわかる様にして欲しい。
- ・夜間のキャッチやティッシュ配り、勧誘などがあるため歩き辛い。
- ・放置自転車が多いと感じる。
- ・道路の形状、はみ出し陳列。
- ・表参道や外苑の様になると良い。
- ・所々に広場があり、少し座れる所があると良い。
- ・全体的に感じる。



選択肢	回答数	割合
1. 清掃・美化活動、緑化活動などの推進	14	44%
2. オープンカフェ、照明実験などの実験的な取り組みへの協力	9	28%
3. 勉強会や講演会をはじめとしたイベントなどの開催	3	9%
4. その他	4	13%
5. 特にない	1	3%
6. 無記入	1	3%

(n=29 (累計32))

問4 自由記入欄の主な意見

・中心街の情報提供のツールとしてフリーマーケット市の電子掲示板設置を検討して欲しい。
・商店街等の大規模清掃をしてみたい。ゴミ拾いはよくやっているが、道路等を徹底的にキレイにする。

町田市公共事業担当部署へのヒアリング調査

質問事項	回答
<p>問1 市の景観形成業務は、良好な景観形成に寄与していると感じられるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性は感じているが、事例が少ないので比較が難しい。 ・事業担当課は景観に対する意識が低い場合もあるので、景観アドバイザーによる意見は大切。 ・景観配慮をした後の維持も課題である。長期的な維持管理ができるよう、庁内の連携が必要。
<p>問2 更に改善を図る場合、どのような取り組みが必要であるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業景観形成指針による景観協議を行う場合には、事業スケジュールなどを考慮した上で事務局、事業担当課の連携と、事業の景観コンセプトをより明確にする必要がある。
<p>問3 公共事業景観形成指針は十分に運用、機能していると感じるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事例が少なく、あまり実感が無い。制度をもっと上手く活用したい。 ・制度や景観に対する理解を深めるための勉強会などの機会が欲しい。 また、協議した事例の発表の場やPRの場があるとよいと思う。

